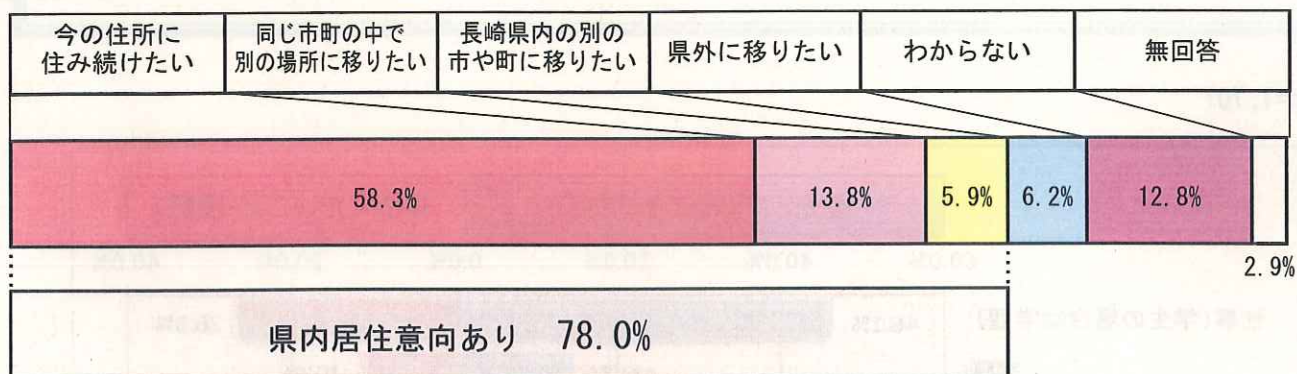


[問 3] 今後の居住意向

あなたは、今後も現在の住所で暮らしたいと思えますか？

n=1,701



[全体]

- ・「今の場所に住み続けたい」が過半数を超える 58.3%となり、「同じ市町の中で別の場所に移りたい」、「長崎県内の別の市や町に移りたい」を合わせると 78.0%の人が今後の県内居住を希望している。
- ・一方、「県外に移りたい」は 6.2%となった。

[地域別]

- ・離島地域の県内居住意向(66.7%)は、他の地域と比べおよそ 10 ポイント低く、「県外に移りたい」(13.7%)の割合が他の地域より高い。
- ・島原半島地域と県北地域では、「今の住所に住み続けたい」が 6 割を超え、他の地域よりやや多い。

[性別]

- ・男性、女性ともほぼ同様の結果であり、性別による際立った傾向は見られない。

[年代別]

- ・年代が高いほど、「今の場所に住み続けたい」とする割合が多くなっている。
- ・20 歳代では、「今の場所に住み続けたい」が 31.7%にとどまり、同じ市町内の別の場所や県内の他の市町、県外への移住希望者が他の年代に比べやや多くなっている。

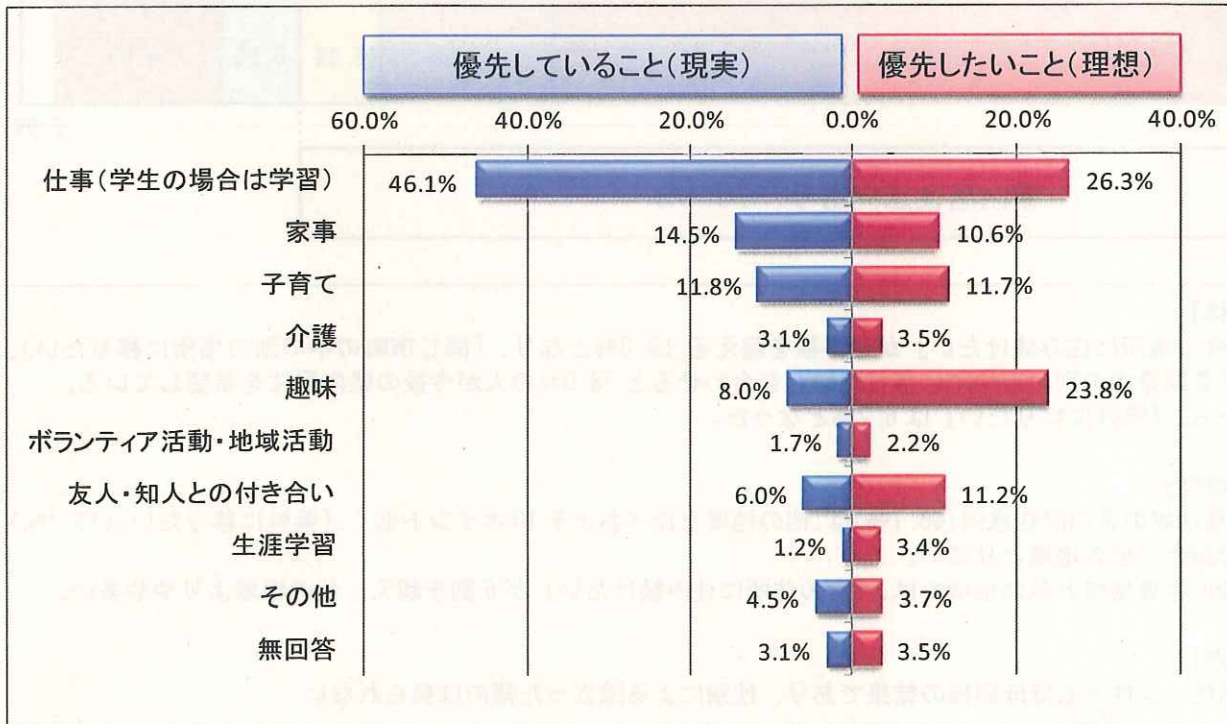
(日常生活の優先順位について)

[問 4] 日常生活 (日常生活の優先順位)

あなたの日常生活についてお聞きします。

- (1) 現在、あなたが一番優先していることは何ですか?
- (2) 今後の希望として、あなたが一番優先したいことは何ですか?

n=1,701



[全体]

- ◆優先していること (現実)
 - ・「仕事」(46.1%) が最も多く、次いで、「家事」(14.5%)、「子育て」(11.8%) となった。
- ◆優先したいこと (理想)
 - ・「仕事」(26.3%) が最も多く、次いで、「趣味」(23.8%)、「子育て」(11.7%) と続いている。
- ◆優先したいことの理想と現実のギャップ (理想－現実)
 - ・「仕事」(▲19.8%) や「家事」(▲3.9%) の時間を減らし、「趣味」(+15.8%) や「友人・知人との付き合い」(+5.2%) を優先したいという傾向が見られる。

[地域別]

- ◆優先していること (現実)
 - ・全体の傾向と同様、全ての地域で「仕事」が最も多く、次いで、「家事」、「子育て」の順となっている。
- ◆優先したいこと (理想)
 - ・県南・県北地域以外で「仕事」が最も多く、次いで、「趣味」となった。県南・県北地域では、「趣味」が最も多く、次いで「仕事」となった。
- ◆優先したいことの理想と現実のギャップ (理想－現実)
 - ・島原半島地域では、「仕事」(▲24.0%) のギャップが他地域より高く、離島地域では、「仕事」(▲13.7%) のギャップが他地域より低くなっている。

【性別】

◆優先していること（現実）

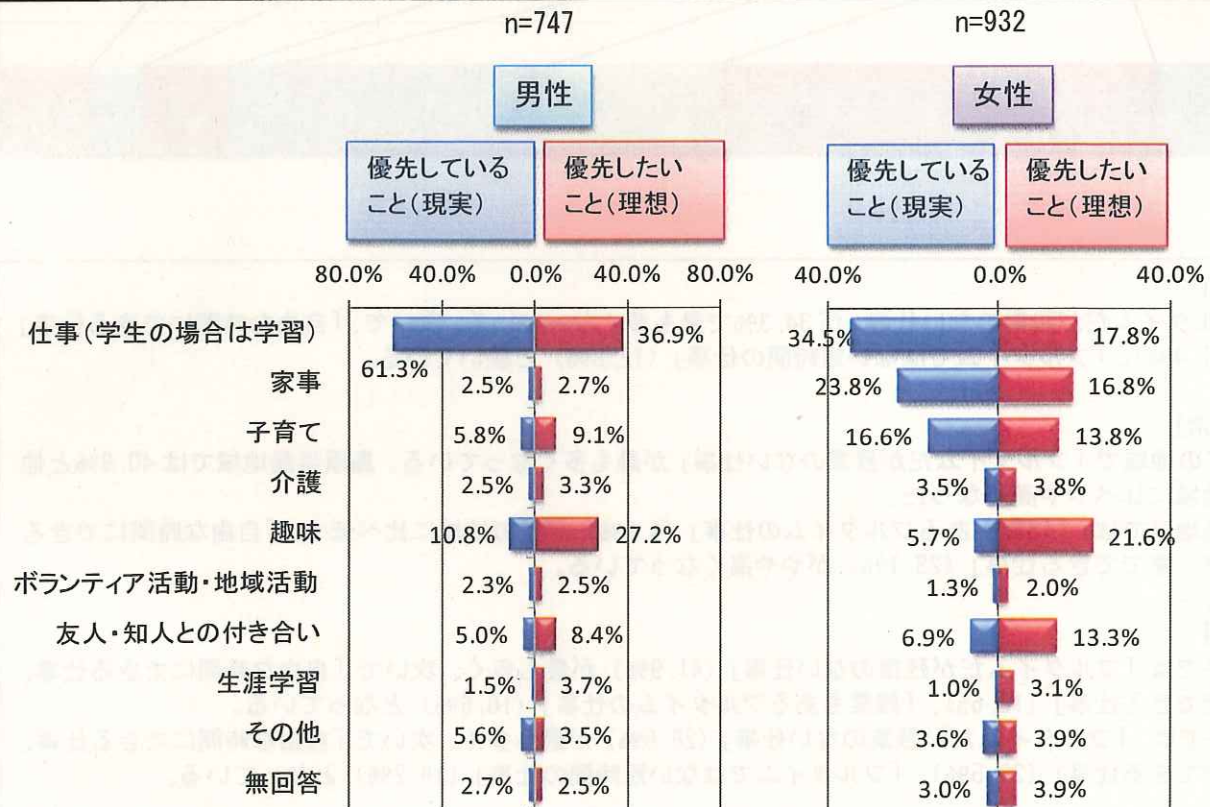
・男性・女性ともに「仕事」が最も多く、男性では6割を超えている。女性は「仕事」（34.5%）に加え、「家事」（23.8%）や「子育て」（16.6%）を優先している割合が高い。

◆優先したいこと（理想）

・男性では「仕事」（36.9%）及び「趣味」（27.2%）が大きく他を引き離している。女性では、「趣味」（21.6%）が最も多く、次いで、「仕事」（17.8%）、「家事」（16.8%）、「子育て」（13.8%）、「友人・知人との付き合い」（13.3%）となっている。

◆優先したいことの理想と現実のギャップ（理想－現実）

・男性では、「仕事」（▲24.4%）の時間を減らし、「趣味」（+16.4%）や「友人・知人との付き合い」（+3.4%）、「子育て」（+3.3%）などを、女性では、「仕事」（▲16.7%）、「家事」（▲7.0%）、「子育て」（▲2.8%）の時間を減らし、「趣味」（+15.9%）や「友人・知人との付き合い」（+6.4%）などを優先させたいとの傾向が見られる。



【年代別】

◆優先していること（現実）

・20～60歳代では「仕事」が最も多く、70歳代では「家事」（27.4%）が最も多くなっている。

◆優先したいこと（理想）

・20歳代、40～50歳代では「仕事」が最も多く、30歳代では「子育て」（36.7%）が最も多くなっている。60歳以上では「趣味」（60歳代:30.7%、70歳以上:25.2%）が最も多くなっている。

◆優先したいことの理想と現実のギャップ（理想－現実）

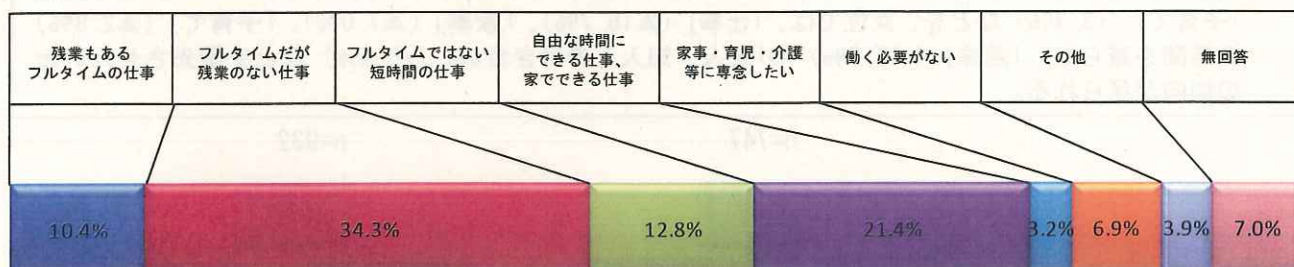
・50歳代では、「仕事」（▲29.6%）の時間を減らし、「趣味」（+26.7%）を優先させたいとの傾向が強くなっている。

[問4] 日常生活（理想とする働き方）

あなたの日常生活についてお聞きします。

（3）現在の家族構成において、今の仕事の内容にかかわらず、あなたが理想とする働き方はどのようなものですか？

n=1,701



[全体]

・「フルタイムだが残業のない仕事」が 34.3% で最も多くなっている。次いで、「自由な時間に行える仕事」(21.4%)、「フルタイムではない短時間の仕事」(12.8%) と続いている。

[地域別]

- ・全ての地域で「フルタイムだが残業のない仕事」が最も多くなっている。島原半島地域では 40.8% と他の地域に比べやや高くなった。
- ・離島地域では、「残業もあるフルタイムの仕事」(4.6%) が他の地域に比べ低く、「自由な時間に行える仕事、家でできる仕事」(28.1%) がやや高くなっている。

[性別]

- ・男性では「フルタイムだが残業のない仕事」(41.9%) が最も多く、次いで「自由な時間に行える仕事、家でできる仕事」(18.6%)、「残業もあるフルタイムの仕事」(16.6%) となっている。
- ・女性では、「フルタイムだが残業のない仕事」(28.8%) が最も多く、次いで「自由な時間に行える仕事、家でできる仕事」(23.5%)、「フルタイムではない短時間の仕事」(18.2%) となっている。

[年代別]

- ・20歳～50歳代で、「フルタイムだが残業のない仕事」が最も多くなっており、若い年代ほど、その割合が高くなっている。
- ・年代が高くなるとともに、「フルタイムだが残業のない仕事」の割合は減少傾向となり、「自由な時間に行える仕事、家でできる仕事」の割合が増加傾向となっている。

[職業別]

- ・「フルタイムだが残業のない仕事」は、学生(69.0%)、正規の従業員・職員(59.0%)、会社・団体役員(55.9%)が多い。
- ・「自由な時間に行える仕事、家でできる仕事」は、自営業者(42.4%)、家族従業者(39.2%)、専業主婦・主夫(34.1%)が多い。